

「関西財界セミナー特別賞」と「技術経営・イノベーション賞 文部科学大臣賞」
受賞報告

小田 兼利 (15, Feb, 2017)

昨年9月ナイロビで、IOMウィリアム・レイシー・スウィング代表から難民キャンプでの協働を表彰し記念盾を頂きました。今回重ねて二件受賞しました。



このような受賞・内外メディアの高い評価での報道は、私達の実績を過大視しています。

『世界中の人々が安心して、生水を飲めるようにする』との目標は。まだ、スタート地点を走っている状況です。

POLY-GLU 普及地では、水が原因の乳幼児死亡率が大幅に下がっています。

浄水場には“日の丸が輝き”水売り人が集まり“道の駅”が出現して、想定外の雇用を生み出し、地域を活性させ、従来の国際協力事業では為し得ない現象を起こしています。

POLY-GLU は苦しい経営の中で、“適正技術の開発と普及”に執念を燃やし“情けは他人の爲にあらず”で頑固な経営を続けた故に、職員や周囲に心ならずも、辛苦な犠牲も強いてきました。受賞を機に“健全経営と途上国への貢献の両立”この難しい課題を必ずやり遂げます。幾つかの国に優秀な POLY-GLU レディ、ボーイも育てています。まだスタート地点とは云え、普及への万全の体制は整っています。

これからの1年～2年先にご注目いただきたいです。



今回の受賞は政府、特に首相官邸の応援と、JICAとの“官民連携事業”が評価された結果です。JICA・日本大使館によるご支援は、官民連携事業の手本だと評価を頂いております。

◎想定外に出現した“道の駅”を、日本企業の進出拠点にします。

我国政府の『難民を出さない！ 難民が帰還したくなる！』との国際協力に向かう正論の実現に、些少なりとも貢献したいです。

世界は自己中心に陥り、一世紀前に逆戻りの様相です。

今日この時間も、生きるために必死に彷徨っている親子がいます。

今こそ我日本がオールジャパンで立ち上がる機です。

日本が、世界で主導権を握れる、千載一遇の機会が訪れているのです。

「情けは人の為にあらず」精神で臨めば可能であると、
この小さな企業が示しているのです。世界に安寧を齎せるのは、
日本人の優しい資質だけです。今回の栄誉は『ポピュラーリズムでも無く、
グローバリズムでもない』『無償援助でもなく、寄付での事業でも無く』、
日本人のビジネスで世界を救える、実例をした事への栄誉です。

POLY-GLU 方式で臨めば、国際協力、ODAは現在の予算で5倍、10倍にも活かします。我
国だけが世界に安穩を齎す唯一の国であり、世界を正常に向けて主導しなければなりません。
この様な“POLY-GLU 活動”が注目され、認められ出した事は嬉しいです。

以上